

1 調査結果の概要

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
相模原市教育委員会	5,275	9.4 / 14	67	10.0	3.2
神奈川県(公立)	68,279	9.4 / 14	67	10.0	3.1
全国(公立)	947,364	9.5 / 14	67.7	10.0	3.1

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)			
			貴教育委員会	神奈川県 (公立)	全国 (公立)	
全体		14	67	67	67.7	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	62.1	62.3	64.4
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	87.4	87.7	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	72.7	73.3	74.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	61.9	60.3	59.8
		B 書くこと	2	69.6	68.3	68.4
		C 読むこと	3	68.5	69.6	70.7
評価の観点	知識・技能	6	68.1	68.3	69.8	
	思考・判断・表現	8	66.3	65.8	66.0	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	10	70.2	70.1	69.9	
	短答式	2	56.1	55.5	59.7	
	記述式	2	62.3	61.9	64.6	

【調査結果からわかる本市の状況】 ○比較的できている点 ●課題のある点

○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使うことはできている。〔2ー(2)〕

●目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに引き続き課題がある。〔2二〕

●文の中における主語と述語との関係を捉えることに引き続き課題がある。〔3一〕

2 成果と課題

(1) 比較的できていた問題

○趣旨

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。

○問題

2ー(2)

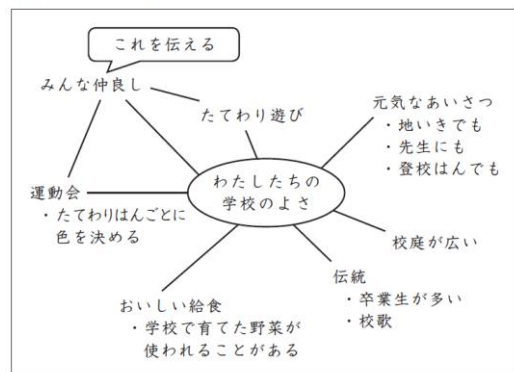
高山さんの学級では、学校のよさを伝える文章を書くことにしました。高山さんは、学校のよさを考えながらメモを書き、文章に書くことを決めました。次は【高山さんのメモ】と【高山さんの考え】です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 出来事が起こった順に言葉を線でつないでいる。
- 中央の言葉と関係する言葉を線でつないでいる。
- 似ていることがらをまとめて丸で囲んでいる。
- よい点と問題点を分けて丸で囲んでいる。

正答率:87.4%
(全国:86.9%)

【高山さんのメモ】



【高山さんの考え】

「たてわり遊び」と「運動会」は、どちらも1年生から6年生までが同じ「たてわりはん」で活動していて、みんなが仲良しになる。このことが学校の一番のよさだと思うから、文章に書こう。



高山さん

(2) 課題の見られた問題と学習のポイント

○趣旨

目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

○問題 2 二

正答率:57.3%
(全国:56.6%)

高山さんは、次の【高山さんの文章】の [] に、【高山さんの取材メモ】をもとにして考えた「たてわり遊び」のよさを書こうとしています。あなたが高山さんなら、 [] に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に応えんの仕方を教えたり、下級生も楽しめるように、アきょうぎの作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに応えんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールをイなげるようにしています。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について

6年生がくふうしていること

○遊びたいことを下級生に聞く

○ルールをくふうする

ドッジボール 上級生は遠くからボールをなげる

下級生に聞いたこと

○1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった

○3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた

○4年生 みんなが楽しそうであれしかった

<条件>

○「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。

○【高山さんの取材メモ】の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。

○六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【正答例】

「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「みんなが楽しそうであれしかった」という4年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができるところだと思います。(100字)

【学習のポイント】

自分の考えが伝わりやすい文や文章を書くためには、何のために書くのか、誰に書くのかといった目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にするようにしましょう。そのうえで、「事実」や「考え」を取り上げて書いたり、「事実」と「考え」とを区別して書くなど、書き表し方を工夫しましょう。

○趣旨

文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。

○問題 3 一

原さんは、【物語】の [] について、かがやいているのは何だろうと考えています。次の [] 部「かがやいています」の主語として適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

はらっぱじゅうの 1もやが、ひかりの雲にかわり、 2そして、そのまんなかで、オニグモじいさんの 3巢は、かぞえきれないほどたくさんの小さなお日さまでできているように、きらきら、きらきと、 4まぶしく かがやいています。

1 もやが

2 そして

3 巢は

4 まぶしく

正答率:59.4%
(全国:62.3%)

【学習のポイント】

伝えたいことを相手に正確に伝えるためには、主語と述語との関係を捉えることが大切です。日常的に主語が何かを意識して、文章を読んだり書いたりするようにしましょう。

1 調査結果の概要

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
相模原市教育委員会	4,984	8.8 / 15	59	9.0	3.3
神奈川県(公立)	59,476	8.8 / 15	59	9.0	3.4
全国(公立)	875,574	8.7 / 15	58.1	9.0	3.4

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)			
			貴教育委員会	神奈川県 (公立)	全国 (公立)	
全体		15	59	59	58.1	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	3	58.5	60.0	59.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	60.5	60.3	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	73.4	74.8	75.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	60.6	59.9	58.8
		B 書くこと	2	67.5	66.8	65.3
		C 読むこと	4	49.3	48.5	47.9
評価の観点	知識・技能	6	61.7	62.6	62.0	
	思考・判断・表現	9	57.1	56.4	55.4	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	61.8	62.0	61.0	
	短答式	3	61.5	61.8	61.8	
	記述式	3	47.8	46.5	45.5	

【調査結果からわかる本市の状況】 ○比較的できている点 ●課題のある点

○目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることはできている。

〔3〕一

●目的に応じて必要な情報に着目して要約することに課題がある。〔2〕四

●文章の中で用いられている表現の技法について理解することに課題がある。〔4〕一

2 成果と課題

(1) 比較的できていた問題

○趣旨

目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。

○問題 3 一

正答率:84.1%
(全国:81.4%)

佐藤さんは、国語の時間に、「体験をもとに、身近なものを登場人物にした物語を書く」という学習に取り組んでいます。次は、佐藤さんが構想をまとめた【ノートの一部】と【物語の下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

④③②①

次の出番への期待。
忘れられるかもしれない不安。
久しぶりの出番で感じた喜び。

(各場面では「僕」の心情)

紙の辞書を久しぶりに使って気付いたよさ。

(物語を通して伝えたいこと)

紙の辞書を久しぶりに使って。

紙の辞書を久しぶりに使った。

紙の辞書を久しぶりに使った。

(もとにする体験)

紙の辞書を親に譲ってもらった。

紙の辞書を語り手。

紙の辞書の持ち主(中学生)。

【ノートの一部】

佐藤さんは、【ノートの一部】の<もとにする体験>に書いた情報の中から、「最近オンライン辞書ばかり使っている。」と「紙の辞書を久しぶりに使った。」を取り上げることにしました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 物語の読み手に、紙の辞書を初めて手にしたときの気持ちがより明確に伝わるようにするため。
- 物語の読み手に、紙の辞書よりもオンライン辞書の方がよいことがより明確に伝わるようにするため。
- 物語の読み手に、紙の辞書を久しぶりに使って気付いたよさがより明確に伝わるようにするため。
- 物語の読み手に、紙の辞書の引き方が難しく困ったことがより明確に伝わるようにするため。

(2) 課題の見られた問題と学習のポイント

○趣旨

目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる。

○問題 2 四

そのいけきんたけ
(園池公毅『植物の形には意味がある』による。)
※文章の掲載は省いています。

【正答例】

ア
葉の形を表す言葉を、二次元的な形容のグループと三次元的な形容のグループに分け、前者には多様性、後者には共通性という特徴があると述べている。
イ
数学や物理学などは普遍性の学問、生物学は普遍的なことにも例外のある多様性の学問という違いがあると述べている。

正答率:45.0%
(全国:42.6%)

〈着目する内容〉

⑦
⑧

←選んだ(着目する内容)を塗りつぶさない。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

ア 筆者が、葉の形を表す言葉をどのようなグループに分け、各グループにどのような特徴があると述べているかについて。
イ 筆者が、数学や物理学などと生物学とでは、学問としてどのような違いがあると述べているかについて。

四 本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約します。次のア、イから一つ選んで(どちらを選んでもかまいません)。要約しなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【学習のポイント】

要約する力は生活の様々な場面で役立つものです。要約するためには、伝える相手や目的を意識し、必要な情報に着目して、文章の全体または部分を短くまとめることを意識しましょう。

○趣旨

表現の技法について理解しているかどうかをみる。

正答率:53.8%
(全国:54.9%)

○問題 4 一

田中さんは、国語の時間に、テーマを決めて短歌を集め、友達に紹介するための資料を作っています。次は、田中さんの【ノートの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

テーマ…月と風景

- A まどかなる黄月はいま昇りつつひとたび暮れし雪野を照らす ながさわいっさく 長澤一作
B 風さやか庭に月待つ萩すすき ひぐらし 蝸の声やみし夕暮れ ほかそのたかし 外園隆
C 朝光のひろびろしきに あさかげ 昨夜のつきかけありしあたりを掃きぬ もりおかさだか 森岡貞香

Bの短歌で用いられている表現の技法を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 「風さやか」に部分に、擬人法が用いられている。
- 2 「庭に月待つ」の部分に、直喩が用いられている。
- 3 「萩すすき」の部分に、倒置が用いられている。
- ④ 「蝸の声やみし夕暮れ」の部分に、体言止めが用いられている。

【学習のポイント】

「擬人法」、「比喩」、「倒置」、「体言止め」などが、どのような特徴をもつ表現の技法なのかを名称と結び付けて確認し、学習で使えるようにしましょう。